

議会だより

2026.8
No.188

たかはぎ



視察研修

市内公共施設
及び先進自治体



令和8年第2回定例会

会期 6月5日～6月18日

議案に対する質疑……………3

委員会審査報告……………3

市政に対する一般質問…………4

高萩市議会
ホームページ





令和8年第2回定例会に提出された議案等

事件番号	件 名	審議結果
議 案 第 34 号	高萩市ポイ捨て防止に関する条例の制定について	原案撤回 (全員賛成)
報 告 第4号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市市税条例の一部改正について）	原案承認 (全員賛成)
報 告 第5号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市都市計画税条例の一部改正について）	原案承認 (全員賛成)
報 告 第6号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市国民健康保険税条例の一部改正について）	原案承認 (全員賛成)
報 告 第7号	専決処分の報告について（高浜スポーツ広場グラウンド人工芝整備工事請負契約の変更について）	—
報 告 第8号	令和7年度高萩市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	—
報 告 第9号	令和7年度高萩市水道事業会計予算繰越計算書について	—
報 告 第 10 号	令和7年度高萩市工業用水道事業会計予算繰越計算書について	—
議 案 第 39 号	高萩市サンスポーツランド高萩の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 40 号	LED照明器具の取得について	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 41 号	救急自動車の取得について	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 42 号	救急資器材の取得について	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 43 号	ICT教育用タブレット端末の取得について	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 44 号	ICT教育用タブレットソフトウェアの取得について	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 45 号	令和8年度高萩市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 (全員賛成)

議員賛否一覧（議案等に対して賛否の分かれたものを掲載）

○＝賛成（採択） ●＝反対（不採択） 退＝退席（棄権） 欠＝欠席 除＝除斥

	大 平 望	畠 山 結 樹	高 久 聡 至	藤 橋 隼	坪 和 久 男	渡 辺 悦 夫	我 妻 康 伸	八 木 陽 子	大 森 要 二	田 所 和 雄	菊 地 正 芳	吉 川 道 隆	今 川 敏 宏	寺 岡 七 郎	結 果
陳情第 2 号	●	○	○	○	○	※	○	○	欠	○	○	○	○	欠	採択

※議事進行を行った副議長は可否同数の場合を除き、採決に加わりません。

議案質疑

議案第 41 号

救急自動車の取得について

坪和 久男 議員

質問 現在使用している救急自動車の購入時期と経過年数及び更新基準について伺います。

消防長 初年度登録が平成 21 年 10 月、運用開始から 16 年が経過しており、更新基準は、運用開始からおおむね 10 年以上または走行距離 18 万キロ以上と定めています。走行距離は 28 万 1,000 キロです。



議案第 42 号

救急資器材の取得について

坪和 久男 議員

質問 現在の資器材と新しい資器材の機能の比較について伺います。

消防長 今回更新する資器材には、主に 2 つの大きな特徴があり、1 つ目が、携帯型モニタリング機能付き除細動器で、最新機種は、より精密かつ多角的なモニタリングが可能となります。2 つ目が、自動心肺蘇生器で、心肺停止の傷病者を搬送する際にも、中断することのない継続的な胸骨圧迫及び人工呼吸が可能となります。これらの特徴により、救命処置の質が飛躍的に向上し、より効率的かつ効果的な救急救命活動が可能になることを確信しております。

委員会報告

総務産業委員会

6 月 15 日、当委員会に付託された議案 2 件の審査を行った。

○議案第 41 号 救急自動車の取得について

○議案第 42 号 救急資器材の取得について

質問 車種と金額について

答 メーカーの指定はなし。令和 3 年度の車種については、日産のキャラバンがベース。令和 3 年度と 8 年度の車両の比較をすると、465 万 3 千円、率にして 17.6% 減額している。仮契約の段階ではあるが、救急車の金額は、2,173 万 6 千円、救急資器材については、2,299 万円の契約金額となっている。

文教厚生委員会

6 月 12 日、当委員会に付託された報告 3 件、議案 6 件、陳情 1 件の審査を行った。

○議案第 39 号 高萩市サンスポーツランド高萩の設置及び管理に関する条例の一部改正について

質問 条例改正後の工事日程は

答 利用実績のないゲートボール場を約 45 台分の駐車場に整備する。議決後、7 月以降に工事を発注し工期は約 2 か月を予定している。

○議案第 43 号 ICT 教育用タブレット端末の取得について

質問 今回取得するタブレット端末の購入金額は

答 現在使用している端末の購入時価格は税込み 4 万円であったが、今回の端末本体価格は税込み 6 万 500 円で、約 1.5 倍となる。半導体メモリ等の高騰や円安による輸入調達コストの増加が要因と考えている。



○議案第 45 号 令和 8 年度高萩市一般会計補正予算（第 1 号）について

質問 再生可能エネルギー導入検討経費について調査後の事業展開は

答 可能性調査では、公共施設等での効果的な活用方法や、必要な設備、電力、導入可能性を調査・検証し報告書を作成する。

報告書を基に次年度以降、設計業務を経て設置工事を予定している。





八木陽子 議員

公共交通について

質問 高萩市の高齢化率と単身世帯数を教えてください。

健康福祉部長 令和7年10月1日現在39.7%、高齢者単身世帯は1,664世帯です。

質問 公共交通の各種施策を教えてください。

企画総務部長 デマンド型乗合タクシー、定時路線バス、「My Rideのるる」です。

質問 午前7時半～8時半、午後3時～7時まではアプリだけの予約しか出来ず電話での予約は出来ないのですね。「My Rideのるる」のアンケート調査では、電話での予約がなかなか取れず諦めたり、目的地までの時間がどの位かかるのか予想がつかない、バスが来たので乗ろうとしたが予約をしていないので乗ることが出来ない、夫婦で乗ろうとしてもご主人が予約をしていないため乗れない、病院の予約に間に合わなかった、電車で間に合わないなどの回答があり、私の所にも同じような苦情が届いています。高齢になればなるほどAIでの予約をとるのは難しくなります。提案ですが、市内3カ所位の巡回で「のるる」のように自宅の近い所で乗り

降りができるようにしてはいかがでしょうか。

市長 私の所にも同じような苦情が寄せられています。AIオンデマンド交通を時間帯や地域を見定めて戦略的に導入している点が高く評価され、(一社)日本モビリティマネジメント会議よりJCOMMプロジェクト賞に選定されました。しかし、まだまだ課題があり最適な公共交通システムを作ることが最重要です。本年度に次期地域公共交通計画を自治体と事業者で協定を締結し協定運行事業調査及び地域公共交通利便増進実施計画の策定を進めております。



My Rideのるる



藤橋 隼 議員

子供たちの未来を守る むし歯予防の推進について

※1
質問 フッ化物洗口について、園・学校での課題を踏まえ、希望する家庭での個別実施を支援できないか。

健康福祉部長 家庭実施にも、保護者の理解や薬剤の安全な取扱いなどの課題がある。一方、幼児期、学齢期のむし歯予防に有効な方法の一つと認識しており、歯科医師会の協力を得ながら有効性を周知啓発する。

夜間の安心を支える市民協働型の地域情報管理について

質問 デジタルツールで市民から夜間の危険箇所等の情報を収集・可視化する基盤を作れないか。また、その協力を社会貢献活動と位置付け、防犯灯電気料補助の要件に加え、若い世代の地域活動参加を促進できないか。

企画総務部長 危険箇所等の早期発見につながると認識している。一方、民有地情報や緊急性の低い相談増加など運用上の課題もある。まずは防災アプリの連絡機能の活用と周知を進める。デジタル活動を補助要件に含めるかは、制度目的を維持しつつ調査研究する。



※2

通過型観光から滞在・回遊型観光への転換について

質問 観光情報に「グルメ」「宿泊」を加え、観光客目線で再整理し、※3デジタル観光マップ等で市内回遊や滞在につなげられないか。

産業建設部長 観光客目線の分かりやすい情報発信は重要である。市ホームページから観光協会サイトへ誘導し、モデルコース、飲食店、宿泊施設等の情報充実に努める。市民、事業者、行政が連携し、魅力発信の環境づくりに取り組む。

その他の質問

人口減少社会における行政DXと職員のデジタル活用能力向上について

※印に関する詳しい情報は7ページの用語解説をご覧ください。



田所和雄 議員

**グリーンタウンてつな
住宅団地粗造成地について**

質問 利活用の経緯について伺う。

副市長 平成27年11月より北部エリアは、太陽光発電事業用地として民間事業者への貸付を開始しました。南側の粗造成地については、民間活力の導入を含め、幅広い利活用の方策の検討を進めてきました。

質問 平成27年度から11年間の北側エリアの太陽光発電

事業の土地貸付収入と固定資産税収入について伺う。

企画総務部長 土地貸付収入の総額は、1億1,950万円です。市民生活部長 固定資産税収入はあります。

質問 平成27年度から11年間の南側エリアの草刈り費用の総額について伺う。

企画総務部長 粗造成地草刈業務全体の金額の総額は、4,836万円です。

質問 粗造成地南側エリアの利活用についての所感を伺う。

市長 サウンディング型市場調査実施により、有益で効果的な利活用を実現をしていきます。

防犯灯の現状と管理について

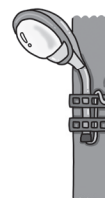
質問 高萩市明るい街並み（防犯灯LED化）推進事業

の令和7年度までの実績を伺う。

企画総務部長 申請件数が304件、設置基数が1,552基、予算執行額が4,162万円です。

質問 隣接する日立市、北茨城市では、街路灯、防犯灯の管理を市が実施しています。本年度の電気料金の補助予定灯数が1,600灯分であり財政的には、防犯灯の管理を市に移管しても問題はないと思う。本市においても、行政の効率化を図り、防犯灯の市への移管手続きをしてはどうか。

市長 補助金を活用していただくことで自治会等の負担を軽減し、地域コミュニティの活性化につなげていただきたいと思います。えております。



坪和久男 議員

**少子化対策・子育て支援
事業の拡充について**

質問 茨城県は総合的な少子化対策が必要として、本年度は過疎地域に指定された自治体が支給する出産祝い金に同額を上乗せ補助する事業などを実施することです。高萩市は対象外ではありますが、令和7年度の出生率は令和3年度に比べて約4割に減少しています。少子化が深刻な地域であり、出産祝い金制度は不可欠であると考えてま

すので出産祝い金制度を提案したい。第1子が10万円、第2子が20万円、第3子以降は30万円支給してはどうか。

市長 医療体制の確保と教育環境の整備、これらを必要であると考えて優先的に支援事業を進めてまいりました。祝い金のような一時的な給付金などの支援とは異なる形ではありますが、住民がつつがなく日常生活を送ることができ、まちづくりをすることも、有効な子育て支援策であると考えております。引き続き地域に必要な支援の在り方を検討し、子育て世帯にできるだけ配慮した施策事業を進めてまいりたいと考えております。

**スポーツ施設の利用促進等
について**

質問 サンスポーツランド高萩の利用者から、少人数の使用時の使用料が高くなるので、安くしてほしいという声がありましたので使用料の見直しについて提案をしたい。

教育部長 占有面積を分割して個人料金を設定した場合、運営面において調整すべき課題があり、現時点では個人の利用料金を設定する考えはございませんが、引き続き利用実態や利用者ニーズを踏まえた環境づくりに努めてまいりたいと考えております。



サンスポーツランド高萩



今川敏宏 議員

除草、樹木剪定問題について

質問 市で管理する公共地の草刈り、剪定の計画はどうしているか伺います。

企画総務部長 現在、本市では、各施設の利用状況や維持管理計画に基づいて、まず各担当部局で、施設管理及び維持保全という形で各課が計画を立て行っています。

質問 公共地ばかりではなく、個人所有、企業等法人所有の民地対策も大事なことで、例えば、近隣で庭木が伸びて

枯れ葉が落ちるとか、庭の草が伸びて隣地にまで入るとか、民地間の争いの原因を防ぐため、ぜひ市報、ホームページ等で注意啓蒙をしてはと思いますが、所見を伺います。

企画総務部長 暮らしやすい、住みよいまちという住宅環境等は大変重要なことだと認識しています。例えば隣地の草が伸び放題で、火災になる影響があるといった場合もあるので、消防のほうから直接所有者のほうに注意喚起する場合もありますが、今後そういった災害が起きるおそれがあるような、土地や空き家が増えていく可能性もありますので、市報やホームページ等でも注意喚起できるような方法を検討してまいりたいと考えています。

その他の質問

グリーンタウンてつな未利用地活用・対策について



菊地正芳 議員

自転車通学用ヘルメットについて

質問 保護者の方から春休み中に通学路で安全に練習させたいという声が寄せられている。特に中学校入学後、すぐに自転車通学が始まる生徒にとっては、事前に通学路へ慣れておくことは事故防止の観点からも大変重要である。またヘルメットを一時的に購入した結果、学校配布分と重複してしまうという家庭の負担についても現実的な課題であることから、希望者に対して

早目に配布するなど柔軟な対応を検討してはどうか。

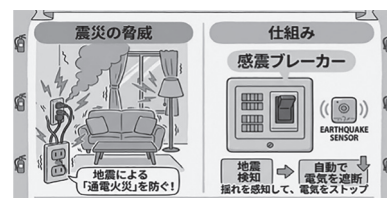
教育長 発注の時期を現行から繰り上げることなどにより、小学校卒業までにヘルメットを配布することを検討してまいりたいと考えています。ただ一方で個別のサイズ確認など、小学校における作業が生じる事から学校現場の意見を聞きながら前向きに検討を進めてまいります。

感震ブレーカー設置補助について

質問 特に大規模地震発生後の通電火災は、一度発生すると被害が大きくなる傾向があり、事前の備えが極めて重要である。県による補助制度が創設されたことで市民の皆様にとっても導入しやすい環境が整いつつある。市として県補助制度を活用した設置支援

について、今後具体的に検討を進めるべきと思うが市長の考えを伺う。

市長 感震ブレーカーの設置は、地震発生時の通電火災抑制に効果が期待できると理解しています。本市の設置率は7.5%であり、設置率向上に向けた施策の一つとして今後は県内の取組状況を十分に注視しつつ、その上で補助制度の導入についても引き続き検討してまいりたいと考えています。





吉川道隆 議員



教育環境の充実

質問 小中学校適正規模・適正配置実施計画の中で令和10年に高萩小・東小学校、高萩中学校を一つにした小中一貫校の建設を予定していたが、物価高騰により計画を延期した。学校建設は財政的に難しい。急激な少子化を考えると既存校舎を利用した学校再編は検討を続けるべき。どう考えているのか。

市長 社会情勢の変化により、基本計画の修正は必要。財政的な裏付けや仕様の精査をし、検討を進める。

質問 老朽化した給食センターの今後の在り方が検討されているが、少子化が進む中、新しく建設するより同じく少子化が進む北茨城市と数年前に建設された防災・給食センターを利用し、広域化を進めてはどうか。北茨城市の意向もあるが、ゴミ処理や工業用水等で既に広域化されており、給食施設も検討できるのではないかと。

市長 両市の課題も多いが、今後の財政運営を考え、広域化はよいことだと思う。様々な選択肢について比較検討し判断する。

質問 駅東口から浜野町踏切までの道、常会解散で防犯灯が撤去され、中学生が通るにもかかわらず夜はかなり暗い。夜間の安全点検を行い、市として防犯灯設置を検討すべき。

市長 通学や地域全体の安心の確保を最優先に関係機関と連携しながら適切に対応する。

落石注意箇所の整備

質問 高戸、万葉の坂の途中に岩肌が見え、落石注意の看板がある。津波の時の避難経路だから、対策は考えているのか。

企画総務部長 倒木の危険性が高いと思われる樹木は伐採予定。定期的に巡回、監視して適宜対応する。



高戸 万葉坂

請願・陳情の審議結果

事件番号	件名	結果
陳情 第2号	集団登校のため、私有地に無断駐車を繰り返していた件について、高萩小学校・高萩市教育委員会との話し合いを求める陳情	採択



用語解説

議会において使われた用語（※印）について、解説します。

※1 フッ化物洗口（ふっかぶつせんこう）

フッ素（フッ化物）を薄めた液でうがいをする虫歯予防法。週1回程度行うだけで歯を強化し、虫歯を抑える効果がある。子どもの頃からの習慣が、80歳で20本の歯を保つ「8020」の実現にもつながると期待されている。

※2 通過型観光・滞在型観光・回遊型観光

通過型観光は目的地へ向かう途中に立ち寄るだけで、まちに長居しない観光。滞在型観光は宿泊を伴う観光、回遊型観光は市内の複数スポットを巡ってもらう観光のこと。

※3 デジタル観光マップ

スマートフォンやパソコンで見られる地図形式の観光情報。観光スポット・グルメ・宿泊施設などをまとめて確認できる。



委員会行政視察報告

総務産業委員会

○令和8年5月19日～21日
○調査事項 創業支援・アウトドア民間企業と連携した観光振興について
○視察先 栃木県真岡市・鹿沼市、茨城県古河市

1. 調査事項「創業支援及び事業承継支援、空き店舗等対策について」

真岡市では、産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画を策定し、市、商工団体、栃木県、よろず支援拠点等が連携して創業支援を実施している。限られた行政資源の中で持続的な支援体制を構築する重要性を認識し、高萩市でも窓口の強化や一元化の検討が必要と感じた。

古河市では、人口減少や商店街の空き店舗増加、事業者の高齢化及び後継者不足などを背景として、創業支援と事業承継支援を一体的に進めている。官民連携の「コガサークル」による創業・事業承継の一体的支援や空き店舗対策、定住促進と連動した継続的な伴走支援体制は大変参考となった。

2. 調査事項「アウトドア民間企業と連携した観光振興について」

鹿沼市では、ダム建設に伴う地域振興策として、アウトドアブランドである Snow Peak と連携し、「Snow Peak KANUMA Camp Field & Spa」を整備・運営している。行政と指定管理者の明確な役割分担のもと、全国規模での広域誘客を実現し、地元製品の販売や雇用創出など地域経済へ還元する仕組みを学ぶことができた。民間事業者との連携により豊かな自然資源やアウトドア環境の活用を観光振興や交流人口拡大につなげる可能性を感じた。



行政視察の様子（古河市）

文教厚生委員会

○令和8年7月1日～3日
○調査事項 教育行政・子育て支援について
○視察先 兵庫県小野市・明石市

小野市の教育の特徴は、脳科学の知見を取り入れた一貫した教育方針にある。大学教授の助言を受けながら、読み・書き・計算を重視し、前頭前野を育てる教育を進めている。主な取り組みは、次の3点である。

第一は、小野検定で、漢字、計算、英語、体力などについて、基礎的な力を繰り返し確認する仕組みであり、学校だけでなく家庭学習にもつなげている。

第二は、16 か年教育で、胎児期をマイナス1歳と捉え、妊娠期から中学校卒業までを一体的に考える教育である。

第三は、小中一貫教育であり、小学校1年生から中学校3年生までを9年間で捉え、学年も1年生から9年生として意識づけている。小野市の教育が単なる学力向上策ではな

く、子どもの成長全体を見据えた教育であるという点である。

高萩市においても、義務教育学校の設立、小中一貫教育の導入等について参考となる取り組みが確認できた。

明石市では、子育て支援を単独の事業としてではなく、まちづくりの中心的施策として位置付けている。特に「あかしこども広場」は、親子が気軽に訪れることができる場所であると同時に、保護者の孤立防止、育児相談、支援が必要な家庭の早期把握につながる拠点であり、中高生世代も含めた居場所づくり、切れ目のない支援として参考になる事業であった。

高萩市においても、子育て支援の拠点化、既存施設の有効活用等について参考となる取り組みである。



行政視察の様子（兵庫県小野市）



令和7年度政務活動費の支出状況

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に役立てるため必要な経費の一部として、議員に対して交付されるものです。

高萩市議会議員には、1人当たり月額1万円が、年度当初の4月に1年分12万円が交付されます。

各議員は、毎年収支報告書に領収書を添付して議長に提出し、残額は返還します。

なお、収支報告書は議会事務局で閲覧できます。

項 目 氏 名	支 出 額						残 額 (戻入額)
	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	事務所費	合 計	
大平 望		120,000				120,000	0
畠山 結樹						0	120,000
高久 聡至				46,800	22,270	69,070	50,930
藤橋 隼	1,000	26,349	570		12,301	40,220	79,780
坪和 久男			4,283		50,730	55,013	64,987
渡辺 悦夫		2,750		56,490	45,000	104,240	15,760
我妻 康伸						0	120,000
八木 陽子	12,000		3,453	16,716	49,294	81,463	38,537
大森 要二						0	120,000
田所 和雄				96,320		96,320	23,680
菊地 正芳			16,415	45,600		62,015	57,985
吉川 道隆		120,000				120,000	0
今川 敏宏				45,600		45,600	74,400
寺岡 七郎			5,415	54,000	49,844	109,259	10,741
合 計	13,000	269,099	30,136	361,526	229,439	903,200	776,800

議 会 日 誌

5月

19～21日 総務産業委員会行政視察
27日 議会運営委員会
28日 議会全員協議会
文教厚生委員会

6月

5～18日 第2回定例会
18日 議会運営委員会
議会全員協議会
議会広報委員会

7月

1～3日 文教厚生委員会行政視察
10日 議会広報委員会
15～17日 議会広報委員会行政視察
21日 議会広報委員会



昨年の高萩市の出生数が 80 人を下回ったという現状を知り、大きな危機感を覚えました。人口減少や少子化は以前から続いていますが、この数字を前にすると、高萩市の将来について本気で考え、行政・議会・市民が一体となって具体的な施策を議論し、行動に移すことが急務だと感じます。

高萩市には豊かな自然や歴史、温かい人とのつながりがあり、とても暮らしやすい魅力的なまちです。

しかし、その魅力が市内外へ十分に発信されているとは言えません。子育て世代や若い世代に「ここで暮らしたい」「ここで子どもを育てたい」と思ってもらえるよう、情報発信や移住・定住施策をさらに強化し、「選ばれるまち」を目指してほしいと願っています。

また、議長選出に関して、何度も議長への不信任案が提出され、議会運営が滞っている現状を知り、非常に残念に感じました。今はそのようなことを繰り返している場合ではなく、市民生活や地域の未来のために議論すべき課題が数多くあります。議長の任期は本来 4 年であるにもかかわらず、長年続いてきた 2 年交代という慣例についても、時代に合わせて見直すべきではないでしょうか。

高萩市がこれからも持続可能なまちであるためには、老若男女すべての世代が安心して暮らせる環境づくりと、特に若い世代から「住みたい」「住み続けたい」と選ばれるまちづくりが欠かせません。未来を見据えた建設的な議論と行動に期待しています。

永年勤続議員表彰



全国市議会議長会定例会及び茨城県市議会議長会定例会において、吉川道隆議員が議員在職 25 年の特別表彰を受賞されました。また、同じく全国市議会議長会定例会において、渡辺悦夫副議長、坪和久男議員が議員在職 10 年の表彰をそれぞれ受賞されました。

インターネットでの放送予定

	インターネット
本 会 議	市ホームページ (携帯・タブレット可)
総務産業委員会 文教厚生委員会 決算特別委員会 議会改革特別委員会	YouTube

市のホームページは「高萩市議会」からお入りください。
委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトの
YouTube を利用しています。使用環境によっては、視聴できない場合があります。
※過去の録画映像もご覧いただけます。



令和 8 年第 3 回定例会（9 月）予定

- 9 月 4 日（金）本会議 議案上程
- 9 月 7 日（月）本会議 一般質問
- 9 月 8 日（火）本会議 一般質問
- 9 月 10 日（木）本会議 議案質疑
- 9 月 11 日（金）文教厚生委員会
- 9 月 14 日（月）総務産業委員会
- 9 月 15 日（火）決算特別委員会（総務産業所管分）
- 9 月 16 日（水）決算特別委員会（文教厚生所管分）
- 9 月 17 日（木）決算特別委員会（特別・企業会計）
- 9 月 18 日（金）議会改革特別委員会
- 9 月 25 日（金）本会議 採決

※開会中においても日程等が変更になることがあります。



声の広場

（議会だよりの音声版）

ボランティアグループ「高萩読みきかせグループ」が音訳した『議会だより』を、市ホームページから聞くことができます。



スマートフォンからも聞くことができます。

